

社会教育ガイド

8月の公民館事業

■成人式

期日 8月15日(月)
 時間 午前9時受付
 会場 農村環境改善センター
 (沢海)

対象者 横越中学校卒業生及び横越村在住の方で、昭和42年4月2日から43年4月1日までに生まれたもの

■少年教室

期日 8月18日(休)
 内容 野外観察(三川村)
 対象者 小学校5、6年生

■壮年野球大会(40歳以上)

期日 8月21日(日)
 会場 横越小・中学校グラウンド

■家庭教育学級

期日 8月24日(休)
 時間 午後1時30分
 内容 子どもの夏休みの過ごし方

■文学講座

期日 8月26日(金)
 時間 午後1時30分
 内容 旅と貞享ぶり

■婦人大学

期日 8月30日(火)
 時間 午後1時30分
 内容 日本人の食生活と嗜好

(家庭教育学級、趣味講座、文学講座では、オブザーバー聴講できます。なお、講師の都合等で期日が変更されることがあります。)



活動のあり方が熱心に討議される

三市中蒲の公民館役員が一堂に会して、公民館活動のあり方を考える三市中蒲公民館大会が、七月五日横越村農村環境改善センターで行われ

大会は、「九十年代の公民館活動を考える」をテーマにパネル討議が行われ、中川横越村教育長、宮嶋村松町公民館長、中川亀田町公民館運営委員、山口新津市成人式実行委員長の四人がパネラーとして登壇し、それぞれの立場の考えが述べられた後、参加者との意見交換がされました。

「公民館職員は、もつと地域に向き、地域に根つこのはえた活動、調査活動や地域づくりにも取り組む必要がある」と、「公民館は、情報、生涯教育、人材

子供の健全育成 熱心に討議 横小会場に三市中蒲PTA 研究集会開かれる

三市中蒲地区PTA研究会が、七月三日横越小学校を会場にして開かれました。

「家庭教育の充実と学校教育への協力のため、PTAはどのように活動をすればよいか」を研究主題に、家庭における生活リズム、親子の対話機会、子どもたちの交友関係、子どもの遊びとスポーツ、PTAのボランティア活動、子どもをとりまく情報文化、PTA活動の推進などについて七分科会で父兄や先生たちが活発な意見を交わしていました。

全体指導で、下越教育事務所社会教育課副参事佐久間完治氏は、「PTAが設置されてから四十年になる。学校に経済的支援していた時代、多くの行事を計画し、親子の肌のふれあいを持った時代があったが、今後は、青少年の健全な成長をはかる団体として会員が学習する場、地域をよくする活動が必要で、そのために、しっかりと組織をつくりあげることが重要である」と話された。

このあと、元新発田市立外ヶ輪小学校校長高橋英氏から「子どもにとって家庭とは」と題して記念講演がありました。

文化財
ボランティア募集
 ※ボランティアの活動内容
 郷土資料館の資料整備、資料の集取。他
 ※ボランティアの資格
 郷土民俗資料に関心のあ
 る人ならどなたでも。
 ※応募の切り
 八月二十日までに横越村公民館へ。

**し尿汲みとり
お盆休業のお知らせ**
 八月十五日(月)・十六日(火)は、し尿汲みとりを休ませていただきます。
 お盆近くは申し込みが集中しますので、各家庭で早目に対応するようにお願いします。
 (十七日から平常通り)

活動のあり方探る

横越で三市中蒲公民館大会

三市中蒲の公民館役員が一堂に会して、公民館活動のあり方を考える三市中蒲公民館大会が、七月五日横越村農村環境改善センターで行われ

育成センターの機能を持っている。集める公民館でなく、集まる公民館にすべきである。」「運営協議会は報告会に終わっている。基本的な運営方向を協議すべきだ。」「公民館は、町づくり、人間尊重、住民の創意による自発的な運営など、設置の原点にもとどるべきだ。」「高学歴化

が進み、人を集めて教育することはむずかしい。若者たちは、郷土愛を育て、ふるさとを誇れるような刺激のあるイベントを求めている。などの意見が出されました。

このあと、新潟市教委生徒指導室長の笠原誠氏から自分の体験に基づいた「びんぼう子育て記」の記念講演がありました。

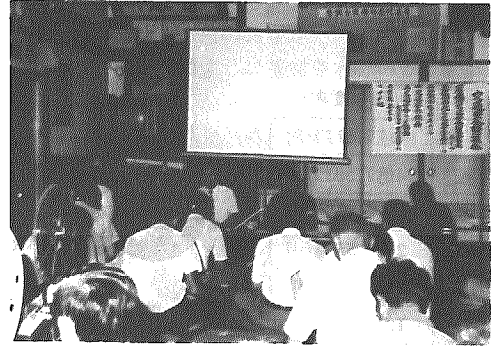
壮年野球大会 出場申し込み

▽出場資格
 ◎昭和24年4月1日以前に生まれ、20歳以上の者
 ○本村に現住所を置く者

▽試合期日
 8月21日(日)

このあと、元新発田市立外ヶ輪小学校校長高橋英氏から「子どもにとって家庭とは」と題して記念講演がありました。

事故防止へ決意を新たに 交通安全懇談会を開催



交通安全懇談会 (横越下地区)

交通安全の総合的な対策を推進しようと発足した交通安全対策協議会(会長・浅見村長)では、五月に初会議を開き交通安全計画を検討してきましたが、このほど、村民一人ひとりが今一度交通安全に対する認識を新たに、交通事故のない明るい村をつくらうと、村内九会場交通安全懇談会を開催しました。七月十三日からはじまった各懇談会には、村や安全協会、南警察

署などが出席。最初に事故の恐ろしさを訴える「生と死の記録」の生々しい記録映画の映写が行われ、村から免許人口当たり事故率県下ワースト1という大変な名譽な状況下、今一度家庭、職場、地域で事故防止の決意を新たにし、ワースト1の汚名を返上するとともに、明るい家庭、地域づくりを進めようと訴え協力が求められたほか、南警察署員からは交通安全についての講話があり、それぞれの会場に出席された四百三十一名の皆さんは真剣に聞き入っていました。

また、参加者からは、暴走族の取り締まりなど多くの要望が出され、その対応が求められましたが、特に暴走族は地域ぐるみで監視していくことも必要などと話されました。

書を村長に提出しました。この答申書によると、観光客の活用については、実績としてある五十万人観光客の内容を詳しく分析し、都市化や高速交通体系に対応した観光地整備を推進すべきである。観光資源の開発については、村の観光の長期的展望を図り、横越村の観光資源として誇れる阿賀野川の水辺を最大に利用した基盤の整備を図られたい。としています。

また、観光対策答申の詳細のなかでは、横越村総合観光基本計画を明らかにすべきと

七月二十一日から八月二十日まで一か月間行われている夏の交通事故防止運動の一環として、七月二十五日に県道新潟・新津線で交通安全指導所を設け、ドライバーに梅干しと安全運転チラシなど配る

梅干し作戦を行い事故防止を訴えました。

指導所となった山崎製パン(株)新潟工場前には、浅見村長をはじめ、新潟南警察署員や村内交通安全協会、交通安全母の会など約二十名が、午後

観光対策の答申出る 基本計画の策定に着手

観光対策の答申が出る。基本計画の策定に着手する。観光客の活用については、実績としてある五十万人観光客の内容を詳しく分析し、都市化や高速交通体系に対応した観光地整備を推進すべきである。観光資源の開発については、村の観光の長期的展望を図り、横越村の観光資源として誇れる阿賀野川の水辺を最大に利用した基盤の整備を図られたい。としています。

また、観光対策答申の詳細のなかでは、横越村総合観光基本計画を明らかにすべきと

この答申書によると、観光客の活用については、実績としてある五十万人観光客の内容を詳しく分析し、都市化や高速交通体系に対応した観光地整備を推進すべきである。観光資源の開発については、村の観光の長期的展望を図り、横越村の観光資源として誇れる阿賀野川の水辺を最大に利用した基盤の整備を図られたい。としています。

また、観光対策答申の詳細のなかでは、横越村総合観光基本計画を明らかにすべきと

この答申書によると、観光客の活用については、実績としてある五十万人観光客の内容を詳しく分析し、都市化や高速交通体系に対応した観光地整備を推進すべきである。観光資源の開発については、村の観光の長期的展望を図り、横越村の観光資源として誇れる阿賀野川の水辺を最大に利用した基盤の整備を図られたい。としています。

また、観光対策答申の詳細のなかでは、横越村総合観光基本計画を明らかにすべきと

この答申書によると、観光客の活用については、実績としてある五十万人観光客の内容を詳しく分析し、都市化や高速交通体系に対応した観光地整備を推進すべきである。観光資源の開発については、村の観光の長期的展望を図り、横越村の観光資源として誇れる阿賀野川の水辺を最大に利用した基盤の整備を図られたい。としています。

この答申書によると、観光客の活用については、実績としてある五十万人観光客の内容を詳しく分析し、都市化や高速交通体系に対応した観光地整備を推進すべきである。観光資源の開発については、村の観光の長期的展望を図り、横越村の観光資源として誇れる阿賀野川の水辺を最大に利用した基盤の整備を図られたい。としています。

交通安全指導所を設置 事故防止を呼びかける



安全運転を呼びかける村長

二時から約一時間にわたって通過する車を一台一台止め、ドライバーに梅干しと安全運転チラシの入った袋を手渡ししながら「梅干しで暑さと眠気を吹き飛ばして、安全運転を」と呼びかけました。

8月の納税等	
村 県 民 税	2期
国民健康保険税	3期
下水道受益者金	2期
下 水 道 担 当	5期
国民年金保険料	(8月分)

税金は 明るい暮らしの おてつだい